

# 修了生の活躍事例

## 東北能開大の志望理由と学んだこと

私は元商業科卒であり、ものづくりとは反対のことを学んでいました。しかし、小さいころから自らの手で物を作りたいという夢があり、家の近くで、ものづくりを1から教えてくれるところはないかと探していたところに、家にも近く、ものづくりをしっかりと学べるところがあると知人から紹介があり、入校を決意しました。

専門課程終了後、応用課程生産機械システム技術科に進学し、専門課程で学んだスキルのさらなるブラッシュアップを図りました。

東北能開大に入校し、自分の強みを見つけられたことで、指導員という今の仕事に出会えることができました。

香川職業能力開発促進センター

高橋 裕 さん

東北職業能力開発大学校

応用課程

生産機械システム技術科

令和 元年度 修了



## 学生時代取り組んだことと後輩へのアドバイス

学生時代取り組んだ中で一番印象深いのは、4年次1年かけて取り組んだ「開発課題」です。私のグループでは「支援学校のための車いす洗浄クリーナの開発」に取り組みました。他の学科の仲間たちとグループワークで進めました。わからないことが多く大変でしたが、その分完成した時の達成感がありました。

今は他の大学より厳しい大学と感じている方も多いと思います。しかし、確実にその厳しさが自分の力になっていると感じる時が来ます。授業に全力で取り組んで下さい。



## 一日も早く一人前の指導員になりたいと考えています

将来の目標は、指導員として、溶接技術全般の習得及びレベルアップを図り、訓練全般の担当、さらに受講生の技術・技能習得により貢献できるようになりたいです。あわせて、就職指導についても、受講生の方が希望の職に就けるようサポート能力を高めます。

最終的には、能開大の指導員になり、私が学生時代に先輩指導員の協力により夢を叶えていただいたように、私も機械系の指導員として学生の夢をサポートし、明るい未来に導きたいと考えています。

## 就職先企業での活躍

### 高橋 裕さんの業務

私は、求職者及の方々への職業訓練及び就職支援、在職者向けの職業訓練等を行う「香川職業能力開発促進センター」のものづくり溶接科の指導員として日々の業務にとりこんでいます。現在指導員歴〇年目になり、指導員業務もだいぶ慣れてきました。指導員として社会貢献するため、現状に甘んじることなく、日々のスキルアップに励んでいます。

訓練生へ溶接作業提示中の高橋さん▶



### 香川職業能力開発促進センター (香川県高松市)

香川職業能力開発促進センターは、独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構の施設の中で、求職者の方々の職業訓練及び就職支援、在職者の方々の能力開発セミナー等の業務を行っています。求職者のコースとして、ものづくり溶接加工科、機械・CADオペレーション科、電気・通信施工技術科、ビル管理技術科、ICTシステムデザイン科など幅広い分野の職業訓練に取り組んでいます。また、能力開発セミナーも、機械加工、溶接、電気施工技術等、様々なコースを用意し、在職者の方々のスキルアップに取り組んでいます。

(事業内容)

- ・求職者、在職者に対する職業訓練 など

### 職場からの声

配属されて数年が経ち、年度当初に定めた目標を達成すべく積極的に前向きに業務に取り組むなど、社会人としての自覚も出てきたように思います。仕事に対して意欲的に取り組む姿勢が周りの方々からも評価されています。

今後もより意欲的に業務に取り組んで、一人前の指導員として活躍することを願っています。

